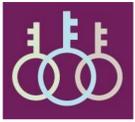




日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会 活動報告

ダイバーシティ推進委員会とは

- 2011年に発足した男女共同参画委員会は、2013年にダイバーシティ推進委員会として新たなスタートを切り、より多様な立場の方々の多様な形での学会参加を促進することを目的に、今期（2021--2022年度）は13名の委員で活動しています。
- ダイバーシティの推進に向けて様々な方策を提案していきます。例えば、女性研究者の研究継続支援のため、2014年から優秀女子学生賞を設立し、受賞者を輩出しています。
- シンポジウムなどを企画し、様々な立場の方からの話題提供や議論の機会を設けています。
- 男女共同参画学協会連絡会への出席や、ダイバーシティ関連情報の収集などに積極的に取り組んできました。



ダイバーシティ = 多様性

組織の中に多様な人材がいる方が、より柔軟で発展性のある組織となると考えられています

最近の主なトピックス

■ シンポジウムの開催

昨年は、オンラインシンポジウム「民間企業のダイバーシティ」（2022年3月）を開催しました。木材学会に関連が深い民間企業の3名の方に、民間企業のダイバーシティの取り組みをお話いただき、その後、参加者を交えて学会のダイバーシティのあり方を一緒に考える場としました。各企業でそれぞれに状況が異なることや、個人的な経験談など、ざっくばらんなお話ができ、ご好評頂きました。

● 2023年3月24日午後オンラインでシンポジウムを開催します。ぜひご参加ください！

感染症対策で在宅勤務やオンラインの導入が進み、ダイバーシティの観点からは有利な点も増えましたが、理科系では“実験”をどうするかといった課題も残されています。そこで「ポストコロナを踏まえた 教育・研究におけるダイバーシティの取り組み」と題し、様々な人が参画できる多様な科学研究のあり方について下記の話提供を頂き、皆さんと一緒に考える場とします。

○科学の多様性を支えるしくみについて：東京大学先端科学技術研究センターで、バリアフリー・バーチャル実験室、ロボットによる実験自動化なども研究されている並木重宏さんから科学分野における多様性について様々な観点からお話し頂きます。ご専門は虫の研究です。

○オンラインで行った学生実験の紹介：受講者宅に実験キットを送付して行った、大学のオンライン講義について森林総合研究所の前田 啓さんからお話しいただきます。受講者がジグを作製する、感覚をセンサーとして使うなど、様々な工夫をご紹介頂きます。

○多様性とコロナ禍の研究、講義や実験等について：広島大学大学院人間社会科学研究科で木材や教育に関する研究を行っている木村彰孝さんから、コロナ禍での大学の対応や、今後の研究と個人差も含めた多様性などについてお話し頂きます。

3月22日正午までにDsympo2023@ml.affrc.go.jpへ「氏名・所属」を記入してお申し込みください（無料、会員以外も参加可、詳しくはチラシや学会HP等で）。

- 今後も多様な人が学会に参加できるように情報発信や活動を継続し、会員の要望の集約や会員同士の情報共有・交換の場として機能することに努めるとともに、会員のために何ができるか議論を続けたいと思います。ご意見お待ちしております。

昨年のシンポジウムのチラシ



優秀女子学生賞にぜひご応募ください！

優秀女子学生賞は「木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収めて将来を嘱望される本学会女子学生会員」に毎年原則として2件以内授与されます。受賞者には賞状のほか、副賞が贈られます。ぜひ積極的にご応募下さい。

学会外での活動と関連情報

■ 男女共同参画学協会連絡会関連

- 第5回科学技術系専門職大規模アンケート、若手研究者の雇用に関するアンケート：ご協力ありがとうございました。調査結果が、男女共同参画学協会連絡会のホームページに掲載されています。
- 第20回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム：日本木材学会からは活動報告への要旨掲載を行いました。
- この他、運営委員会、関連シンポジウム、女子中高生夏の学校等に参加・協力しています。

■ 内閣府

- 内閣府男女共同参画局のホームページや、広報誌「共同参画」に、関連する様々な情報が掲載されています。
- R4年度の男女共同参画週間ポスターのキャッチフレーズは“「あなたらしい」を築く、「あなたらしい」社会へ”でした。

■ 経済産業省

- 「ダイバーシティ経営の推進」のホームページに、ダイバーシティ経営の定義、経済産業省の取組、新・ダイバーシティ経営企業100選、ダイバーシティ2.0行動ガイドラインなどが掲載されています。